



10/3~

村上的いしいが詰まった駅弁を販売中です

東京駅、新潟駅ほか



▲〈弁当内容〉岩船産コシヒカリ・塩引き鮭・村上牛しくれ・岩船麩のカツ・赤かぶの漬物など

村上の食を生かした観光PRのために10月3日(月)から1万食限定で「村上の幸まるごと弁当」を販売しています。

ぜひ、親戚や友人、知人の皆さんにPRをお願いします。なお、200個に1個の割合で、村上木彫堆朱の箸置(2個セット)が当たります。

〈価格〉
1,180円(税込)

〈販売店舗〉

東京駅「駅弁屋 祭」、新潟駅「駅弁屋 新潟店」、上越新幹線(一部列車)車内販売

10/2

地域の宝を地域で整備

山元遺跡

▶丁寧に刈り払いを行いました



山元遺跡は、日本海沿岸東北自動車道の建設に伴う埋蔵文化財調査で見つかった弥生時代後期の遺跡で、今年6月に国の指定史跡にするよう文部科学大臣に答申されました。神納東地域まちづくり協議会では、この遺跡に親しみや愛着を持ってもらおうと、地域の人と登り階段の補修や山頂付近の刈り払いなどの整備活動を行いました。

10/8

幽玄な光といにしへの音色のまつり

小町通りほか



◀竹灯笼の光を見つめる少女

第15回宵の竹灯笼まつりが開催されました。雨天のため開催も危ぶまれた初日。夕方には雨も止み、1万本を超える竹灯笼の光が、訪れた多くの人たちを幻想的な世界へいざないました。会場では、琴やフルート、尺八、三味線などの演奏会が行われ、イベントに花を添えました。

10/2

新屋集落に文化活動の拠点ができました

新屋集落

▶多くの招待客が集まりました



武蔵野音楽大学元教授の大滝雄志さん(蒲萄集落出身)が村上市の空家バンクの制度を活用し、新屋集落の古民家を文化活動の拠点「遊心庵」として再生させました。修復に関わった関係者や暖かく迎えてくださった地域の人約100人を招待し、古民家開きを行いました。

歌手、霧島昇氏と松原操氏の三女で、二代目松原操として音楽活動をされている奥様、てる子さんによるミニコンサートでは約20曲が披露され、「ふるさと」の合唱では、来場者全員の歌声で会場は感動に包まれました。

大滝さんは今後、音楽イベントやカルチャー講座なども行っていきたいということです。

10/9

集落の伝統「嫁送り」復活

山熊田集落



◀ 縄が張られ、花嫁を止める

23年ぶりに「嫁送り」を復活させたのは、今年3月末に結婚した地域おこし協力隊の大滝順子さん（旧姓鈴木）。嫁ぎ先から7回のお迎えが来てから出発するのが集落の風習。道中には2箇所縄が張られ、集落の人が「お祝いの歌を歌わないと通しませんよ」というと、仲人で集落総代の大滝勝義さんが長持唄を歌い、皆さんで結婚式をお祝いしました。集落総代さんは「伝統的な式を皆さんで祝えてうれしい。これからもたくさんの交流から集落で結婚する人が増えたらいいですね」と喜んで話してくれました。

10/4

受け継ごう、地域の宝

山北中学校



◀ 地域の人と楽しく学ぶ生徒たち

山北中学校1年生32人が「地域を知り、誇りを持ち、語れる子どもたちを育もう」をテーマに総合学習の授業を行いました。地域の人を講師に迎え「笹川流れ」「山北の方言」「村上の特産品」「山北の郷土料理」「山北の自然と観光」「山北の漁業」「山北の歴史」のテーマ別に分かれ、地域を学び語り合いました。「山北の方言」を学んだ菅原諒大くんは「おばあちゃんが方言を使うので学びたいと思いました。使い方をわかりやすく教えてもらえてとても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

10/16

大盛況！荒川商工産業祭

荒川総合体育館



◀ 飛ぶように売れたあらかわスイーツ

恒例の荒川商工産業祭が開催され、地元商店など18店舗による特売のほか、バナナのたたき売りや餅まき、ダンスやブラスバンド演奏など、盛りだくさんの催しが行われました。

この日は最高の秋晴れが広がったこともあり、近年では最高となる約5,300人の来場者数を記録（荒川商工会調べ）。会場内は両手に買い物袋をぶら下げる人たちでごった返し、活気に溢れていました。

10/9

歴史ある町並みで地域を盛り上げよう

塩谷集落



◀ 人力車の運行も行われました

塩谷集落では、毎年恒例の町屋散策を「塩谷町並300年祭」と銘打ってにぎやかに開催。今年は、江戸時代から明治初期に建てられた7棟の家屋や蔵が国の登録有形文化財に指定され、公開された町屋内では地元の小学生がガイド役を務めました。そのほかにも、琴や三味線の演奏、小学生による鼓笛隊パレード、よさこいの披露など盛りだくさんの内容で歴史ある町並みをアピールしました。